

令和3年度 第1回学校運営協議会 記録

日時：令和3年7月30日（金）

形式：緊急事態宣言の発出に伴い、書面開催とした。学校運営協議会委員に資料一式を送付し、その内容についてアンケート提出を依頼。

回答者：学校運営協議会委員（6名:私立大学教授、吹田市立中学校校長、株式会社 総務部、私立保育園園長、障がい者就業・生活支援センター センター長、本校 PTA 副会長）

アンケート回答：

今年度の学校運営協会のテーマは「ICT 機器を活用した授業づくり」としている。府立学校においては、児童生徒一人一台端末として iPad の導入が進められており、ICT 機器の環境整備が徐々に整ってきている。併せて、校内でも学校独自に iPad を購入し、プロジェクターや電子黒板、大型モニターの整備やデジタル教材の活用に取り組んでいる。

アンケートでは、テーマに関連する質問事項を設定し、下記の回答を得た。

1 すべての資料についてご確認いただきましたでしょうか。

確認した 5名

確認していない 1名（←必要と思われるところは、確認をしました。全部は少し難しいです。）

2-1 「ICT 機器を活用した授業」とはどのような授業を思い浮かべますか。

A 委員：一般的には、タブレット等を活用した子どもたちの情報活用能力の育成や ICT を効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等が思い浮かびます。ただ、支援学校においては以前より学習活動の中に絵カードや写真などによる視覚支援が日常化されており、その一環として iPad 等をさらに発展的に活用された授業が展開されるのではないかと期待しております。

B 委員：教室（コンピュータールームだけではなく）で、児童生徒が授業をより良く理解するために、普段から教員と児童生徒が情報機器を利活用している授業。

- C 委員：①ハンドアウト資料（配布物、教科書等）が限定的ですむ。
②一方通行になりがちな授業風景。
③電子黒板？と生徒さんの手元 iPad での進め方で操作がうまくできなくなった時（余計なところを触って等）困る。
④タイムリーな情報提供ができる授業になると思う。
⑤活用によっては、インターネット検索で情報提供が広がると思う。

D 委員：先生の質問に対して、タブレットに回答を記入する

- E 委員：・口頭のみ説明ではなく、動画等を活用した授業
・今後 ICT 機器がある生活が当たり前になってくるかと思います。インターネット検索の上手な方法やルート検索の方法、写真撮影を皆でしてそれを教材に何か取り組む等といった授業
・楽しそうなイメージと、データで残せるのできちんと確認、振り返りができるイメージ

F 委員：映像、アニメーションの活用で視覚支援となり、音声の活用で耳から刺激が入るので学習意欲を向上させ、学習に興味、関心が高まり、集中しやすい授業のイメージです。

2-2 また、その授業で児童生徒にどのような力を育むことが必要だと思われますか。

A 委員：GIGA スクール構想でも示されているように、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人ひとりに応じた情報活用能力を育むことは必要であると思われます。ただ、支援学校においては、高等部卒業後の進路を見据えながら情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える力や望ましい情報社会に参画しようとする態度をどのように育んでいくかは指導者側の難題になるのではないのでしょうか。

- B 委員：・調べ学習や資料、作品制作を通して思考力・判断力・表現力等の育成
・意見交流を通して自分の考えを深める力の育成
・一人ひとりの考え方を伝え合う力の育成

C 委員：①デジタルなので、記録が残らないので、記憶方法（覚える）が求められる
②今どきは、携帯も持っていると思います。iPad 使用での育む力は必要ないと思います。自然に育まれると思います。蛇足：弊社給与明細も個人のスマホ

へ配信しています。退勤管理もタイムレコーダーは無くなり、会社携帯、パソコンより打刻その他諸々も WEB になりました。全員クリアーしています。

D 委員：一人一人の能力が違うと思いますので、よくわかりません

E 委員：想像力、応用力、楽しむ力、SNS でのマナー、主体性、協働性、集中力、発信力（質問→チャット等でも可能）

F 委員：授業時間での集中力、積極的に発表、発言をして授業に参加する力を育むこと

3 児童生徒が授業で ICT 機器を効果的に活用するうえで、身につけておくべき知識・技能には、どのようなものがあるとお考えでしょうか。

A 委員：支援学校に在籍する子どもたちの特性や個性を考えると求められる情報活用能力が具体的にどのようなものであるかは特定できないと考えます。例えば言葉で表現の難しい子どもにとってはコミュニケーションツールとしての効果的活用なども多数あると思います。その上で大切なのは、指導者側が個々の子どもにつけさせたい知識・技能が何であるかを的確に把握することであると考えます。

B 委員：・ ICT 機器を活用する能力
・ 情報に対するモラルやセキュリティー意識

C 委員：①操作方法の流れ
②先生と生徒の送受信方法（やり取り）
③デジタルなので、配布資料等の取扱（渡した、渡していない等）について。

D 委員：パソコンの基本的な操作方法

E 委員：・ ネットリテラシー等

F 委員：・ パソコンでの文字入力、ファイル保存、メールの送受信等基本的な操作方法、インターネット閲覧等で基本的な情報を活用
・ 危険なサイトや学習に関係のないサイトへアクセスしない等セキュリティー

対策の知識を身につける

4 ICT機器を活用した授業の実践に向け、教員に必要な能力、資質、スキル等はどうなものだとお考えでしょうか。

A 委員：自身の専門教科に関係なく、①教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する力 ②授業中にICTを活用して指導する能力 ③子どもたちにICT活用を指導する能力 ④情報モラルなどを指導する能力 ⑤校務にICTを活用する能力の5つはこれからの教員に求められる最低限の資質・能力ではないでしょうか。

B 委員：①教材研究、指導の準備、評価や校務にICT機器を活用する能力
②ICT機器を活用して授業を展開する能力
③児童生徒のICT機器活用を指導する能力

C 委員：どのような機材？をして授業を進め、制約（制限）もかかっていると思いますが、生徒さんへ伝えるときに、情報提供幅、提供範囲？を決めておく必要はある。

D 委員：生徒がわかりやすい画像や教材の開発ができるパソコン操作の能力

E 委員：・ネットリテラシー
・ICT機器の操作技術
・ファシリテーション能力、ロジカルシンキング

F 委員：児童生徒が理解しやすい授業にするために、映像や文字を大きくする視覚支援、音声で耳から刺激を入れて、学習意欲を引き出す指導が必要だと思います。

以上